

『主な質疑』

■総務課：一般会計

Q：延びていた公約の町民参加条例は、いつごろ取り組むのか。

A：22年度内にある程度の形にして、皆さんと話し合っていくたい。

Q：心のふるさと基金445万6千円、昨年度の大口の納税者の方にはどんな対応したのか。

A：300万円の大口の納税者から特に求められなかったの。他の方と同様の対応とした。

Q：今年度の職員研修費60万円の内訳は。

A：評価者研修、法制執務研修を予定、職員数が減少している中職場内研修を通じて能力を高めて欲しい。21年度には、自治研修センター等に45名参加し以前より増やしている。

Q：昨年実施した2回の弁護士無料相談の相談者の件数は。

A：町には消費者相談の窓口は設定していない。21年度の無料相談を2回春2名、秋に

7名の相談があったことから、需要を見込み22年度は4回実施する。

Q：清掃の委託料が360万円から150万円に大幅に下がったが、これは仕様内容の変更に基づくものなのか、それとも入札によるものか。

A：庁舎の清掃費は、4、5社から仕様書に基づき、役場や学校関係、保育所、給食センター、公民館の町施設ごとに見積もり決めている。清掃の内容は変わらない。

Q：消防団の部統廃合が進んでいると聞くが、どう変遷していくのか。

A：21年度には三俣地区消防団の1部を減らし、22年度に土樽地区の第3分団を9部から5部に編成するが、分団員数の変動はない。

Q：自主防災費の補助金3万5千円の内容は。

A：立ち上げ後の資機材の購入費3万円と講演費5千円を限度として補助する。

Q：がけ地近接地の移転補償費は、このエリアにかかっていることすら知らない人もいます。今後PRする必要があるのではないか。

A：実際に484万円の補助金で移ることは難しいが、22年度に全町の状況が判明する

のでPRする必要がある。レックドゾーンからハードの整備をして、イエローに変え移転を免れる方法も考えなければならぬ。

Q：路線バス8路線は、採算が取れず当初の取決め通り進むか不安である。委託バス業者とはどんな話が出ているのか。

A：町内の路線バス乗車率には特に変わらないが、湯沢から六日町、湯沢から森宮野原行きの乗車率が低く、国庫補助基準から協議会で時刻や本数を検討している。

Q：財調基金の繰入れ1810万円、三俣の振興対策費1億2100万円は道の駅用地と合併浄化槽の設置が含まれているのか、2億6000万円との関連は。

A：この事業は下排水路、合併浄化槽、足湯を行っている。道の駅の裏財源として1810万円を計上、三俣振興対策費として2億6000万円が含まれている。合併浄化槽は、社会資本の整備として別途扱いになる。

Q：自主防災組織の補助金が、昨年80万円から35万円に下がったが、今は組織率を上げるより、組織をどう活用するかが重要だ。

A：50%の組織率となっているが、活動実態のない組織が多い。今後はDVDの映像を用いた研修を検討したい。

■町民課：一般会計

Q：土樽保育園と中央保育園の保育料が、21年度大きく変わった理由は家族構成によるのか。

A：11月分の平均保育料は神立、土樽、中央保育園が1万9500円、湯沢保育園が2万5000円、湯沢町は7階層、3歳以上児が5000円から3万9000円、未満児が6000円から4万8000円の平均保育料で予算化している。

Q：参加実践型の交通安全教育を進めるとは、どんなことか。

A：学校や保育園では従来から関係団体と協力して実施、高齢者事故が多くなってきたケースから、一昨年からは高齢者交通安全教室を運転操作を含め実施して好評を得ている。今後は参加者が増えるよう何らかの形で展開したい。

Q：住民基本台帳カードで住民票と印鑑証明が5月からセブンイレブンの1万3000店舗で実施する計画があるが、町はこれを取り組むのか。

A：住基カードの発行が伸び

悩んでいる。使用頻度から費用対効果で担当として導入は考えていない。

Q：子育て支援センターの10事業には参加者のばらつきがある。事業が変わったか。

A：22年度には臨時職員1名配置して、今ある問題点を見直して、次ぎの方向に持っていくか考えたい。

Q：湯沢町の外国人登録の人数と登録事務の内容並びに外国人の住民としての権利と義務は。

A：日本に90日以上在留する人は登録義務がある。20年度末に102名少しずつ増えている。今後外国人の住民票を作る方向で検討。将来外国人についても一定の権利を認める動きになっている。

Q：保育園の給食材料費が220円に50円引き下げられているが、その理由は。

A：給食調理の現場が工夫した結果、今までと同じ料理ができるようになった。

Q：土樽、神立保育園のバス添乗員数とどんな人がなっているのか。また、各保育園の園児の数と経費との関係は。

A：保育園により帰りバスの添乗員に職員で対応しているところは、朝の添乗経費だけから経費が異なる。添乗員は地